

コロナ後の学校は

フェースシールドで授業も

新型コロナウイルスの感染拡大による休校から段階的な再開を進めてきた府立高校でも15日、生徒全員がそろって授業を受ける通常授業を約3カ月半ぶりに行った。教室が「3密」に近い状態になることから、多

くの学校でマスク姿の生徒たちが授業に臨んだ。府立八尾高（八尾市）では、英会話を学ぶ際に、生徒たちが手作りのフェースシールドを装着。コロナ後の「新たな日常」を象徴するような光景がみられた。



フェースシールドを装着して授業を受ける生徒たち＝八尾市の府立八尾高校（代表撮影）

同日から部活動も再開され、部員たちが部室や更衣室などを消毒。感染防止を徹底したという。府立高校では、休校などによる授業スケジュールの遅れを、夏休みなど長期休暇の短縮や土曜授業などで取り戻す方針。八尾高の藤井光正校長（58）は、生徒たちの思いを大切にして、文化祭や修学旅行などの学校行事の中止は避けたいとしている。